

学級づくり・新学期スタートのポイント

平成26年度名古屋学習会



名城大学 曾山和彦

2014.4.13 ¹

本講義テーマについて

□ 「学級づくり・新学期スタートのポイント」; 児童心理2014年4月号 特集「安心感のある学級づくり」(金子書房)が好評

↑
原稿を読んだ教育新聞の編集者から、テーマ:「安心感のある学級づくり」12回連載のオファーあり

そのエッセンスをお伝えします!



²

新学期は「期待と不安」の入り交じる時期

- 新学期の期待:「今までの自分とは違うぞ!」「今年こそ!」「リセットをかければきっとできる!」等、未来の自分に対する期待感情(自己効力感=セルフエフィカシー)が高まる。← 入学直後の中学生への講演で実感
- 新学期の不安:期待感以上に不安感をもつ子どももいる。「どんな先生や友だちと出会い、どんな学校生活が始まるのだろうか」という思いの中には、期待感も不安感も共に入り交じっている。

新学期の今こそ、「背中の一押し」を待っている子どもがいます



³

新学期スタート時のポイント1 ～ルールづくり～(例;私の講義から)



- ルール・マナーの**必要性**を説く

↑
・ルール・マナーは、集団の中で対人関係トラブルやストレスがなるべく少なくなるように、人が生み出した知恵。その知恵が集団の中で共有されることにより、メンバー同士、安心して学び合うことができる(河村茂雄)。
・「縛解一如」(ぼっかいいちによ。木下竹次)～縛るのと解くのは同じこと。「枠」があるから安心が生まれ、自由に動ける。

＜受講ルール・マナー＞・私語を慎む ・携帯電話の電源を切る ・始業前に教室に入る ・講義中の入退室を慎む ・教室をきれいに使う ・講義中の飲食を慎む ・帽子、マフラーは外す

↑
「ルール(規則)」を踏まえた上での立ち居振る舞いが「マナー(行儀)」⁴

ルールづくりのポイント

年齢、発達段階、障害に留意して



- ルール違反を見逃さないアンテナによる感知&対応

・対決ユーメッセージ:「うるさいよ、静かにしなさい」
・対決アイメッセージ:「話がしにくくて、困るのだけど…」
・「?」の問いかけ:「あれっ? ルールは何だったかな?」

- ルール遵守を見逃さないアンテナによる感知&対応

・肯定ユーメッセージ:「えらいね」
・肯定アイメッセージ:「嬉しい、助かる、ありがとう」
・認めるサイン提示:顔を見ながら、「OK!」サイン

⁵

大学生の声

ルール提示を受け、学生はどう思うのでしょうか?



- 先生の講義の進め方は、他の先生と違って、最初に確固たるルールを提示し、授業の雰囲気やよい状態に保ち続けている。他の先生の講義では私語が飛び交っているのに、先生の講義では、学生が皆、静かに講義を聴いている。最初に確固たるルールを提示することがこんなにも効果があるのかと実感でき、自分が将来、教壇に立ったときにも必ず最初に生徒たちへのルール提示をしようと思った。

＜教職課程履修 理工学部1年男子学生＞

⁶

新学期スタート時のポイント2 ～関係づくり～

□ ラポートづくり → リレーションづくり

・ラポート(ラポール); プラスとプラスの感情交流。「つきあい始めた男女の関係」

・リレーション(ふれあい、ホンネの関係); プラスもマイナスも含めた感情交流。「夫婦の関係」「親友の関係」

國分康孝先生による定義です



男女はデートを重ねて結婚へ。では、学級では？

7

学級づくり「機織り理論!？」

- 「学級づくりは機織りと同じ」; 教師と子どもの「縦糸」を紡ぎ、次に子ども同士の「横糸」を紡ぐ。1年かけて糸が共に太く、何本も紡ぎ上がった状態が、きれいな一反の織物。

ラポートは細い糸
リレーションは太い糸
私の考える「関係づくり論」です



8

「縦糸」を紡ぐアプローチ

□ 「〇〇君、〇〇さん」と名前を呼ぶ

フレンドリーにかかわりますが、フレンドにはなりません!



高校の体育の先生がある子たちのことは下の名前で呼び、私や他の人は苗字で呼んでいた。その時点で、私はその先生のことを嫌だと思っていた。<教職課程履修 人間学部2年女子学生>

□ 子どもの好き・得意なことを使い、言葉をかける

大好きだったなあ、「ハングル少年」のA君。(今、君に感謝!!)

関係づくりの第一歩は相手への関心から

9

「横糸」を紡ぐアプローチ

- 短時間&ゲーム感覚で楽しめるグループアプローチを活用する

<新学期スタートの今、活用したい『王道』演習>

- ・ネームゲーム
- ・二者択一
- ・アドジャン

小中学校の「出前授業」で大人気演習!! 子どもは遊ぶが如く、でも私は……



10

まとめ

- ルールづくりも関係づくりも全て教師がしてみせる

- 教師は「授業のプロ」「学級経営のプロ」…その前に「人間関係のプロ」

お互い、学び続けていきましょう!



11

資料

- 「時々、オニの心が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「気になる子への支援のワザ 通常学級担任のための特別支援教育はじめての一步」、曾山和彦(編)、教育開発研究所
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ2 気になる子に伝わる 言葉の“番付表”」、曾山和彦、明治図書
- 「子どもに学んだ“王道”ステップ ワン・ツウ・スリー」、曾山和彦、文溪堂
- 「気になる子も溶け込む授業のしかけ」、曾山和彦(編)、教育開発研究所

私の考えは全て上記の本の中にまとめました!



HP;「KAZU・和・POCKET」

12